

30年度集落支援員活動まとめ

中部地区集落支援員 **黒澤哲人**

支援員として活動しほぼ1年が経過しました。これまで、地域を知る。地域をまわる。サロンまわりで聞き取り。空き家調査。高齢者世帯の把握。各地区の伝統を継承する為の支援。黒沢地区の里山開発に係る支援。大阪北部地震の教訓からの通学路ブロック塀点検。用水路の点検。様々な研修。アンケート作成、回収、まとめ等を行ってまいりました。



空き家



空き家



ブロック塀調査



通学路点検



河川の雑木



自主防災・防災訓練



集落マップづくり



冬の空き家



伝統継承（中獅子踊り）



伝統継承（諏訪神社）



西遊佐研修



飯豊町について大学が語る

アンケートの結果、集落（全町）の共通する課題は次のようになります。

手助け・支え合い

・高齢者に対する見守り、手助け・除雪協力・災害時の不安、対応・免許返納後買い物等の生活支援

人口・世帯数

・人口減少・未婚率の増加・家の後継ぎが居ない・農業後継者不足・世帯数の減少・地区役員の担い手不足

空き家

・危険家屋・景観が損なわれる・鳥獣の住家

環境

・農地、山林の荒廃・排水路の整備

全ての課題を解決する事は直ぐには無理だと思います。

昨年8月、福祉課と社協の共催で行われた講演会がありました。支え合いの仕組づくりアドバイザー河田瑠子先生の講演会です。後日、数箇所の居場所の視察も行われ十数人の有志が集まり、この居場所づくりの会の立上げに意欲を燃やしました。8月の講演会から僅か半年での会の立ち上がりです。

いえ

地域の居場所「いっぶぐあが家」とは？

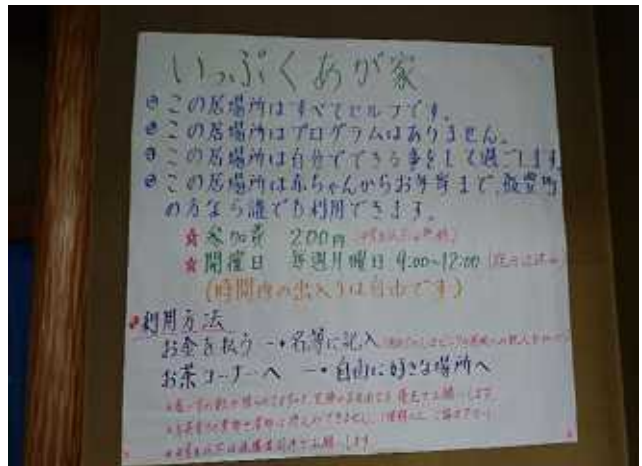
飯豊町の人なら誰でも来られる居場所・・・「赤ちゃんからお年寄りまで誰でも！」でも、送迎は無いんです。ご自分で来られる人が対象になります。

参加費 200円(保護者同伴の中学生以下無料) 開催日 毎週月曜日 9:00~12:00 (出入りは自由です。) 食事 未定 (才以下無料)(今後時間の延長も検討しています。)

「誰かに会いたい、行くところがほしい、誰かと一緒にお茶のみがしたい、一緒に食事をしたい、誰かの役に立ちたい・・・」そんな気持ちで来た人が、自然にお互いの不自由さを知り、また距離感を学びつつ、いつの間にか自然に支え合う様になる場です。それが当たり前になり、自分達が暮す地域に、緩やかな助け合いも広がって行くことを期待しています。



秋生に開設する地域の居場所（プレオープンの様子）



居場所はこんな所

「地区、集落は大きな家族と考える。」とアンケートに書いてくれた人がいました。

これが基本かもしれません。昔から、隣近所で協力して生きてきた私たちは、いつの間にか核家族が多くなり生活形態が変わって来ました。都会に見られるような「隣人の顔を見たこと無い！」そのような生活が将来、田舎の方にも押し寄せてきつつあります。昔のように近隣の交流を多くして助け合い、支え合いをして行くべきだと思います。

先日、空き家を利用した地域の居場所「いっぶぐあが家」のプレオープンで、たくさんの方が集まってくれました。まさしく**助け合い・支え合**っていく場です。こんな居場所が将来「シェアハウス」の様に発展し、集落全体が家族化していくのかも知れません。

こんな場所が、歩いていける範囲で全集落にあれば良いですね。

大事なことが一つ！

支える人がいても「その人が何で困っているのか解らないのが実状です。」

自分みずから「**助けて！**」と言える人になりましょう。